

江戸時代の吹田

平成11年10月23日(土)～11月28日(日)

- * ()内は20名以上の団体割引料金
* 第2・4土曜日は市内小中学生は無料

11月 7日(日) 午後2時／当館特別展示室

吹田市立博物館

大阪府吹田市岸部北4丁目10番1号 TEL. 06-6338-5500

江戸時代の吹田

—古文書と絵図が語るもの—

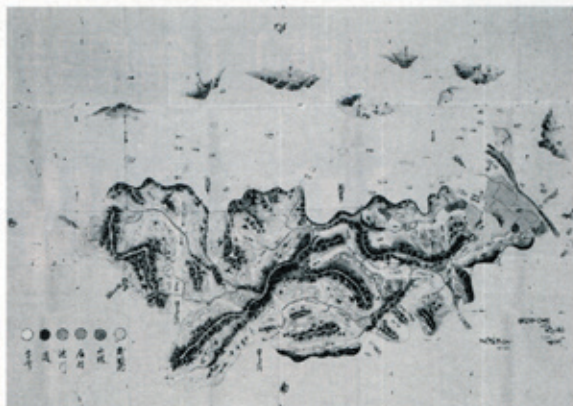
地域で大切に受け継がれてきた古文書や絵図は、その地域に、その時代に、人々の日常の営みがあったことを明らかにしてくれます。

江戸時代の吹田は農村としての性格を持ちながら、大坂という巨大な商都の近郊に位置し、その影響も少なからず受けてきた地域といえるでしょう。また、一つの村を複数の領主が支配するといった畿内特有の複雑な領有関係もあり、まだまだ解明されていない事柄も数多くあります。

江戸時代の吹田の実像に迫るため、いろいろな角度から、古文書や絵図が語りかける世界を紹介し、その史料がどのような意味を持ち、何を表しているのかを考えてみたいと思います。

現代の私たちには「くずし字」で書かれた古文書を、スラスラと解読することは難しく、記されている意味を的確に理解することは、より難解な作業となります。しかしながら、その内容を読み込んでいけば、生活に必要な水の利用や山の資源の利用の様子、村にはどれだけの人が暮らし、どれだけの米や作物を作り、暮らしがどうだったのかなど的一端を知ることができます。

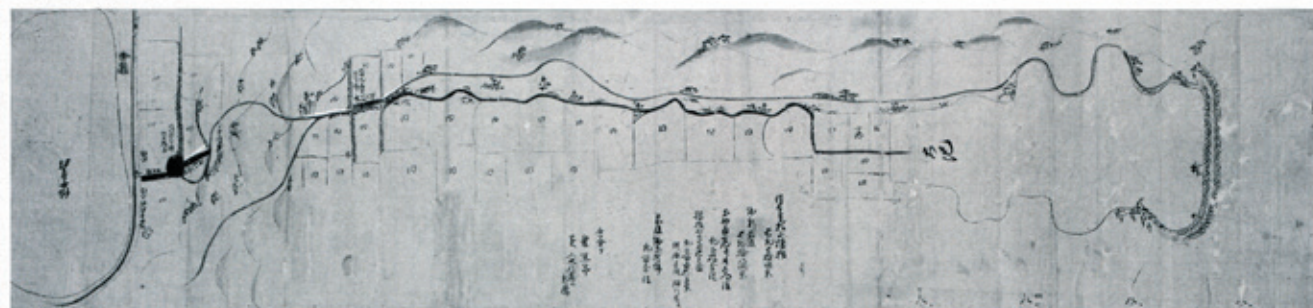
今回の展示では、古文書とともにいくつかの絵図もご覧いただき、江戸時代の吹田のイメージを少しでも膨らませていただければ幸いです。



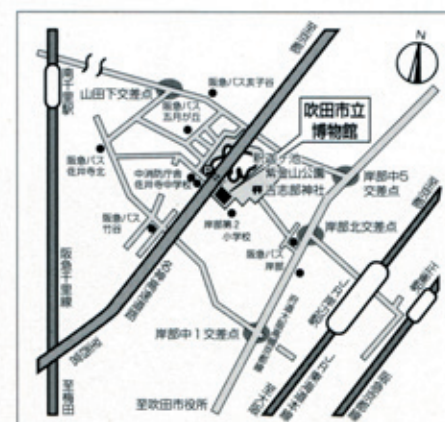
摂津国嶋下郡山田中村絵図（竹中家文書）



神崎川筋吉志部村絵図（奥田家文書）



佐井寺村くり抜き井路絵図（中西家文書）



交通案内

- JR吹田駅・阪急千里線吹田駅から
桃山台駅前・山田榎切山ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分
阪急山田・千里中央ゆきバス「岸部」下車徒歩10分
- 阪急千里線南千里駅から
JR吹田ゆきバス②③系統「佐井寺北」下車徒歩10分
- JR東海道本線岸辺駅下車徒歩20分
- 車でのご来館は佐井寺北・五月が丘方面からお願いします。